

每月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行

縣報 第六百十九號 明治卅九年十二月六日 和歌山縣

○公文

○和歌山縣告示二百五十五號

本縣養病豫防處員ヲ免シタル者左記ノ通リナリ

明治三拾九年十一月 日

和歌山縣知事

伯耆 清 榎 家 致

記

- 中村 英一
- 中村 光太郎
- 藤原 久太郎
- 瀧川 角之助
- 思地 繁松
- 志賀 惟助
- 古賀 次四郎
- 竹森 金次郎
- 江本 瓦之助
- 二宮 龜治

明治三十三年五月八日第三號郵便物認可

縣報 第六百十九號 明治卅九年十二月六日 第三號郵便物認可

景 森 繁 松

右解職ス

○和歌山縣告示二百五十六號

勸業會獎勵規程左ノ通相定ム

但シ明治三十九年一月本縣告示第五號產業獎勵規程ハ廢止ス

明治三十九年十二月四日

和歌山縣知事 伯耆 清 榎 家 致

勸業會獎勵規程

第一條 此ノ規程ニ依リ勸業會ヲ開設スルトキハ當該ヨリ褒賞ヲ授與シ又ハ獎勵金ヲ交付ス

第二條 前條ノ勸業會トハ品評會、競技會ノ類ヲ總稱シ左ノ各號ノ一ニ該當スルコトヲ要ス

一、一郡市以上ノ地區トシ本縣物産ニ關シ施設スルモノ

二、一町村以上ノ地區トシテ特有物産ニ關シ施設スルモノ

第三條 勸業會ノ主催者ハ毎年度(會計年度)五月末日マテニ左ノ事項ヲ具シ開會ノ認可ヲ知事ニ申請スヘシ

一、規則

二、經費豫算

三、豫定出品人員及點數

第四條 勸業會ノ規則ニハ左ノ事項ヲ規定スヘシ
一、開會ノ期間及場所

明治三十三年五月八日第三號郵便物認可

月日	前年	本年	前年	本年	前年	本年
明治三十三年十二月一日	十二月一日	十二月一日	十二月二日	十二月二日	十二月三日	十二月三日
<p>明治三十三年十二月一日ヨリ三日間當地氣象概況</p>						
<p>○觀測</p>						
<p>第七條 獎勵金ハ主催者ニ交付ス其交付ヲ受ケタル勸業會ニアリテハ第六條ノ賞品ハ主催者ヲレ タ之ヲ供出セシム此場合ニ於テ主催者ハ豫メ賞品ノ種類及概算額ヲ定メ知事ニ報告スヘシ 第八條 他府縣又ハ外國ニ於テ開設スル博覽會、共進會若クハ商品陳列場等ニ對シ當廳ニ於テ本 縣物產ヲ出品スルノ必要アリト認メタルトキハ其出品物ノ荷造運送費ノ全部又ハ總額ヲ支拂フス 前項荷造運送費ノ交付ヲ受ケントスルトキハ其費用豫算書ヲ添ヘ豫メ知事ニ申請スヘシ</p>						
<p>二、出品ノ種類及數量</p>						
<p>三、出品其他事務處理ニ關スル事項</p>						
<p>第五條 勸業會ノ審査長ハ知事之ヲ命ス但シ審査員ハ主催者ニ於テ選任シ知事ノ認可ヲ受ケヘシ</p>						
<p>第六條 褒賞ハ功勞賞優賞ノ二種トシ功勞賞ハ當該產業上特別ノ功勞アリト認ムルモノニ授與シ 優賞ハ審査成績優等ナルモノヲ四等ニ分チ一等乃至三等ニ賞品四等ニ褒賞ヲ授與ス但シ同一出 品人ニシテ三等以上數個ノ褒賞ニ當キトキハ其最高ノモノ一個ニ對シ賞品ヲ與ヘ其他ハ賞狀ノ ミヲ付與ス</p>						

平均氣壓	平均氣溫	最高氣溫	最低氣溫	最多風向	平均風力	天氣	雨雪量	記事現象
七六四純七	一〇度三	一六度六	四度五	東	二米八	晴	!	!
七六八純三	五度九	一二度五	一度六	東	二米六	晴	!	午前結霜
七六二純六	一一度三	一七度一	七度一	北西	三米〇	半晴少雨	〇耗〇	午前時々 微雨
七六三純六	一〇度七	一七度八	二度二	東	四米一	曇微雨	〇耗〇	正午前及 後微雨
七六四純五	八度六	一五度五	四度四	東	二米六	半晴	!	正午前及 後微雨
七六六純四	八度三	一二度六	三度六	北々東	三米一	晴	!	午前九時 半沿海ノ 警戒ヲ解 除ス

縣報第六百十九號

明治卅九年十二月六日

第三號郵便物認可

二終

(每月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日回發行)

明治三十三年十二月五日印刷
 明治三十三年十二月六日發行

和歌山縣

和歌山縣

和歌山市久保町一丁目一號
 和歌山市久保町一丁目二號
 和歌山市久保町一丁目三號